

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市栃木勤労青少年ホーム
	所 在 地	栃木市日ノ出町14番36号
	施設内容	青少年ホーム
指定管理者	名 称	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体
	所 在 地	宇都宮市岩曽133番地
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み						
評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか				
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか				
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか				
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	アンケート数			300件	411件	
	利用者意見反映数			2件	5件	
	利用案内掲示数			3か所	3か所	
	利用者満足率			80%	96.80%	
	新規講座の開設			1講座	1講座	
評価	配点	第１次評価（指定管理者評価）			第２次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	25	I	1.0	25	I	1.0
指定管理者コメント	・施設の運営にあたっては、運営の基本方針に基づき全ての業務を遂行しています。 ・勤労青少年ホームを利用する条件に該当する勤労青少年が、平等に利用できるように配慮し運営しています。 ・館内にアンケート・意見箱を設置すると共に、講座終了時には利用者へのアンケートを実施し、運営や業務改善に活かしています。 【アンケートの意見反映】 1. 新講座を開催してほしい ○令和7年度は、新規講座を1講座開催しました。 2. フラワーアレンジメント講座（クリスマス＆お正月）を開催してほしい。 ○2期後半（12月）に開催しました。 3. シーグラスアート講座を再度開催してほしい ○3期（2月）に、再度開催しました。 4. ギター講座をまた開催してほしい ○令和7年度第1期に開催しました。 5. つまみ細工に代わる講座を開催してほしい ○令和7年度第1期に新規講座でタイルアート講座を開催しました。 【アンケートによる利用者満足率】 アンケート総数411人 満足（398人）96.8%、普通（13人）3.2%、不満（0人）0.0% 【業務（施設）改善】 ①閉館後の駐車場の騒音対策として敷地入り口に侵入防止コーンを設置しました。 （令和8年3月時点で、コーンからブラチェーンに改善しています） ②男子トイレのドアノブを修繕をしました。 ・利用者からの苦情 令和7年度は利用者等からの苦情は0件でした。					
施設所管課コメント	・アンケート実施数は計画を上回っている。また、その意見を受けて、施設運営の改善を5件実施できている。 ・また、新規講座の開設を1講座実施するなど、利用者が満足できるサービスの提供に努めており、実際に利用者満足率が96.8%と高い数値となっている。					

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者数			13,000人	15,490人	
	広報誌発行部数			3,000部	3,300部	
	婚活事業数			3回	0回	
	イベント実施数			3回	3回	
	栃木市広報への掲載			6回	10回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	・利用者数は計画に対し、2,490人増加しました。主な要因は、講座終了後に、受講者に声掛けし、新規の青少年登録クラブを3クラブの増やせたことが一番の要因です。 ・栃木勤労青少年ホーム独自の情報誌を5回発行し、利用者数を増やす努力をしました。また、利用する条件に該当する勤労青少年が平等に利用できるように配慮し運営しています。 ・登録利用者数を増やす為に、栃木勤労青少年ホームの案内用パンフレットを作成し32か所(550部)に配布および設置をしてもらう対応をしました。 ・若者の栃木市への定住促進に向けての婚活事業として、男女が知り合うきっかけ作りの場を4回企画立案し、参加者の募集をしました。「バーベキュー好き男女（婚活）」は参加者が男性1名、「いい出会い！スポーツやろうぜ球技王決定戦」は参加者が男性2名、「素敵な出会いヨシ灯り制作」は参加者が男性4名、「クリスマス会で素敵な出会いを！」は参加者が男性4名の方しか応募がなく、やむなく中止としました。 ・自主事業イベントとして、ウイングとちぎフェスタ（利用者発表会）は、7月5日（土）に115人の方に参加していただき開催しました。また、12月13日（土）にウイングとちぎクリスマス会を、58人の方に参加を得て開催しました。そして、第10回目として栃木・大平青少年ホームと勤労者体育センター利用でドッジボール大会を10月12日（日）に、45人の方が参加し交流を図りました。 ・就労支援相談業務（ヒミツキチ）を第1・第3月曜日と第1・第3土曜日に、若者の自立に向けて就労相談を実施しました。 - 就労支援相談業務実績 相談回数81回、相談者数181人 - 令和7年度は、相談者の1人の就職が決まりました。 ・FMくららに2回出演し、講座の募集やイベントの開催の宣伝をしました。					
施設所管課コメント	・広報誌の発行や、広報とちぎへの掲載等は計画を上回る値で実施できている。 ・また、利用者数は計画より2,490人多くなっている。 ・イベントの開催数は計画値どおりに実施できている。 ・婚活事業については、0件と計画値を下回った。周知の強化や参加しやすい開催方法の検討など、参加希望が増えるよう努めてほしい。 ・就労支援相談業務を行っており、1人を就職に結び付ける等、地域社会へ貢献している。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	経費削減率			2%	23.9%	
	見積もり合せの実施数			2件	2件	
	施設修繕数			2件	2件	
	備品等更新数			1件	0件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	・指定管理料については、不明な点は所管課に相談するなどして適正な収支手続きを実施しています。 ・5万円以上の修繕はありませんでした。修繕が必要な場合は、見積もり合せ等により経費の削減を実施し、弊社の総合ビルメンテナンス業のノウハウを生かして適切に対応します。なお、栃木勤労青少年ホーム維持管理修繕費の204,600円を、勤労者体育センター東側パラベット修繕のため、勤労者体育センター維持管理修繕費に流用しました。 ・5万円以下の修繕については、①閉館後の駐車場の騒音対策として敷地入り口に侵入防止コーンを設置しました。（令和8年3月時点で、コーンからプラチェーンに改善しています）②男子トイレのドアノブを修繕をしました。 ・経費削減とサービスの確保については、主に光熱水費の効率的な管理により、結果、令和7年度の光熱水費の計画値1,300,000円に対し、実績は電気料818,737円、水道料151,027円、ガス料19,996円、合計989,760円（23.9%の削減）と大幅な削減につなげました。それに際し、ポスターを掲示し利用者の皆様にご協力は頂きますが、夏場のエアコンについては外気温と室内温度をチェックしながら設定温度をこまめに調整し、熱中症予防に努めておりますので、利用者の方へのサービス低下にならないよう注意しながら運営をしました。 ・省エネ、省資源に積極的に取り組み、資源ごみの分別はもちろんのこと、コピー用紙は再生紙のみを使用して環境への配慮しております。					
施設所管課コメント	・光熱水費の経費削減については、利用者へのサービス低下にならないよう注意しながら、大幅な削減につなげることができた。 ・計画値通りの施設修繕を行っており、適切な施設管理に努めている。同じ指定管理者が勤労者体育センターも一体的に運営を行っている利点を活かし、柔軟に修繕に対応していることは評価できる。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			職員4名・臨時1名	職員3名・臨時1名	
	研修会開催数			12回	12回	
	研修会参加者数			(1回につき3人) 36人	40人	
	勤務時間数(1人当り)			40時間/週	40時間/週	
	経常収支比率			100%	117.09%	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	・管理運営に必要な人員配置と、もしもの時の職員欠員時の緊急応援体制を構築し運営しております。 ・職員の資質向上を図るために、月1回の会社の責任者会議での実務研修(利用者への挨拶、言葉使いの確認等)を職員全員に徹底させるOJTを月1回実施しています。令和7年度合計40人。(4月～8月4人×5か月＝20人、9月～12月3人×4か月＝12人、1月2人、2月～3月3人×2か月＝6人) ・健康保険料、厚生年金保険料の滞納は無く、各種税金も適切に納付しています。 ・環境整備(株)の、令和7年度の経常収支比率は117.09%と良好であり、会社の財政状況は健全です。					
施設所管課コメント	・栃木勤労青少年ホームの職員は勤労者体育センターと兼任になっているが、経験を活かし利用者の不便がないよう努めている。 ・健康保険料、厚生年金保険料の滞納は無く、各種税金も適切に納付している。 ・運営団体の財政状況は良好であり、施設の管理運営には問題ないといえる。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	日常点検の実施			毎日実施（293回）	毎日実施（293回）	
	事故発生件数			0件	0件	
	消防訓練実施回数			消防訓練を年2回実施	年2回実施	
	個人情報の適正管理			個人情報保護勉強会を年2回実施	年2回実施	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	・日常の安全点検や定期点検を実施し、不具合があったらすぐに館長に報告するなど、リスクシナリオマニュアルも随時更新し職員全員に周知徹底しています。そして所管課へ報連相を徹底するなどしてその後どうしていくかの指示を仰ぎました。 ・緊急連絡網に変更があった場合すぐに職員全員へ周知し、危機管理体制を整えました。 ・栃木消防署へ訓練実施の届出を提出した後、消防訓練を2回実施しました。 ①6月9日（月）通報・避難誘導・避難・消火訓練 ②12月8日（月）通報・避難誘導・避難・消火訓練 ・個人情報の保護の方針、マニュアルも勉強会を通じ職員全員に徹底させ個人情報漏洩を防ぎました。 ①6月個人情報保護勉強会テキストで勉強後確認テストを実施 ②12月個人情報保護勉強会テキストで勉強後個人情報自主点検チェックを実施。 ・青少年ホーム利用許可証交付申請書や講座申込書等の書類は、鍵のかかるロッカーで適切に保管しています。 ・応急手当講習会の受講（人工呼吸とAEDの使い方、骨折の応急措置） 体育センター利用で、心臓が止まったり、怪我をした時に適切な応急手当が出来るように11月21日（金）と11月25日（火）に受講しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内のこまめな消毒と来館者の体温測定や手指の消毒のお願いを徹底し感染防止を図りました。					
施設所管課コメント	・日常点検シートを作成し、それに基づき毎日点検を行うことで、事故発生数0件を達成した。 ・危機管理マニュアルや緊急時の連絡網関係機関連絡先一覧を作成し、緊急時に対応できる体制が整っている。 ・消防訓練は計画通り年2回実施し、緊急時に対応できるよう努めている。 ・個人情報はマニュアルに基づいた管理を行い、また個人情報保護に関する勉強会を年2回開催することで職員に徹底させ、個人情報漏洩は0件を達成している。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	97	85	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選 定 委 員 会 コ メ ン ト	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	環境整備株式会社
-------------	----------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和8年2月期	令和7年2月期	令和6年2月期
資産総額	9,480,275,969	8,311,216,000	8,252,940,702
売上高	11,895,369,394	10,487,702,000	11,282,805,288
経常利益	1,063,596,090	521,624,000	782,376,626
当期利益	769,148,569	372,949,000	517,468,639
経常収支比率	117.09%	105.22%	107.45%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和8年2月期	令和7年2月期	令和6年2月期
経常費用	10,199,125,227	9,993,706,000	10,507,006,860
経常収益	11,942,104,065	10,515,332,000	11,289,383,486
経常収支比率	117.09%	105.22%	107.45%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも安定しており、経常収支比率についても、令和6年度107.45%、令和7年度105.22%、令和8年度117.09%と安定しており、健全な財政状況となっております。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み（共同事業体用）

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	いすゞビルメンテナンス株式会社
-------------	-----------------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和7年3月期	令和6年3月期	令和5年3月期
資産総額	2,064,527,000	1,965,822,000	2,189,698,000
売上高	6,225,256,000	6,120,197,000	6,132,509,000
経常利益	318,512,000	284,369,000	417,600,000
当期利益	211,073,000	187,635,000	267,258,000
経常収支比率	105.19%	104.88%	107.28%

決算年次	令和7年3月期	令和6年3月期	令和5年3月期
経常費用	5,921,137,000	5,849,168,000	5,738,079,000
経常収益	6,228,223,000	6,134,470,000	6,155,680,000
経常収支比率	105.19%	104.88%	107.28%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも年を経るごとに伸張しており、経常収支比率についても、令和5年度107.28%、令和6年度104.88%、令和7年度105.19%と安定しており、健全な財政状況となっております。